

2014年3月31日

## 1. アフリカ開発銀行のプロジェクトによるダルフール5州の研修

アフリカ開発銀行は、2010年よりダルフールの支援を表明していましたが、実質的な活動は2013年になってから開始されました。これに対して日本は、2008年よりダルフールプロジェクトをマルチセクター（水、保健、職業訓練）で実施し、確実な成果を出してきました。特に水分野においては、井戸改修用機材をダルフール3州に対して供与すると共に、本プロジェクトと連携し、ハルツームで州水公社の職員の人材育成を実施してきました。

このような日本の積極的なダルフール支援に対して、アフリカ開発銀行は日本との連携によるダルフール各州水公社の人材育成を2013年より実施してきました。本セミナーはDWSTでのダルフール向け研修と並行して3月16日に開催されました。セミナーにおいては、各国際機関の代表が挨拶を行い、その後JICA事務所の加藤企画調査員が日本の各種ダルフール向け協力の報告、DWSTのエティダル研修センター長がスーダンの水分野の人材育成の現状を説明しました。



## 2. World Water Day における発表

スーダンでは毎年「世界水週間（World Water Day）」に関連するイベントを開催しており、今年は3月24日に水資源・電力省のセミナー会場で開催されました。このセミナーでは各種テーマに沿って、大学教授や各専門家が講演しています。また、上村専門家は毎年このセミナーの講師を務め、今年は「スーダンの水と電力」をテーマにプレゼンテーションを行いました。



### 3. 白ナイル州研修センターの施設改善

白ナイル州水公社の研修センターでは、専門家の派遣期間中に様々な施設の改善を実施しています。具体的には、研修センターの庭側にひさしを設置しました。このひさしの設置により強烈な陽光が遮断され、研修環境が改善しました。また、専門家の提案により、中庭に植えられたブーゲンビリアを専用の棚に這わせ、木陰を作りました。これにより、研修生は快適な休憩場所が確保されました。

一方で、白ナイル州では日本の無償資金協力によるコスティ市の給水改善に関する調査が予定されていることから、州水公社は研修センターの広大な敷地に調査団用の事務所を建設しています。このような白ナイル州の自助努力は大変評価できます。



(略語説明)

DWSU： Drinking Water and Sanitation Unit (飲料水・衛生局)

DWST： Drinking Water and Sanitation Unit Training Center (飲料水・衛生局研修センター)